

介護福祉士になるまでの道のり

介護福祉士になるには、大きく分けて

①養成施設を卒業するパターンと

②介護福祉士試験を受験するパターンがあります。

ここでは②の介護福祉士試験を受験するパターンを見てみます。

① 受験資格を得る

「試験前日」までに、介護等の実務に「3年以上、実働日数が540日以上」従事した、かつ実務者研修を修了した人。
または、福祉系高等学校で指定科目を履修した人。



② 筆記試験受験

120問の試験を解き、合格基準を満たす。



③ 筆記試験の合格

(実務経験の要件を満たした実務者研修修了者は平成29年1月受験より実技試験は免除となります。)



④ 指定登録機関に登録

合格通知が届いたら、指定登録機関へ登録する。



介護福祉士

登録が完了してはじめて「介護福祉士」と名乗ることができる。